

特定非営利活動法人ナントongo・プロジェクト

2020年4月—2021年3月



活動報告

特定非営利活動法人ナントongo・プロジェクトは、2011年の設立から10年の節目の年度を無事に終了いたしました。前年までの活動方法が全く通用しない不安な状況でスタートした1年でしたが、世界中の誰もが新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける中で、サポーターの皆様や各ご協力団体からいつも増して温かいご支援を賜り、目的を達成するための様々な新しい活動を試みる事ができました。以前のように、イベント開催や、ウガンダ訪問を実施する事はできませんでしたが、それに代わる方法として卸販売や、インターネットの活用を開始した結果、活動の範囲が拡大し、売上げも増加し、より多くの方々に手作り作品を通してウガンダ共和国の魅力を紹介することができました。ここに、皆様への感謝を改めて申し上げ、1年間の活動をご報告いたします。

販売活動

委託販売・卸販売

以前からの委託先の千葉市動物公園のギフトショップでは、4、5月の2か月間は休園でしたが、それにも関わらず、前年比1.5倍以上の売上となりました。東京都内の動物園が長期間休園になり、千葉市動物公園のお客が増加した影響もありますが、委託商品の種類を増やす等の努力も反映されました。

新たに、8月から卸販売を開始した掛川花鳥園では、「ハシビロコウ切り絵Tシャツ」一点のみの扱いでしたが、非常に好評で、繰り返し受注を受け、前年度は63枚だった同種のTシャツ売上枚数が219枚に増えました。このTシャツは、葛飾区内の無就業の若者がデザインしたもので、製造枚数に応じて、作者に著作権料を支払いました。



オンライン販売

ネットショップサービスのBASE（ベース）と、ハンドメイドマーケットのminne（ミンネ）でナントongo商品の販売を開始しました。

minneでは、掲載した手作り品を購入されたお客様から嬉しい感想を頂いています。遠隔地から購入されるケースが多く、より広範囲で認知されている実感があります。BASEでは手作り作品以外のTシャツ等を販売していますが、海外から注文が入る事もあり、こちらでも販売機会と市場の大きさを伺う事ができます。

どちらのサイトも現時点では、掲載商品がまだまだ少なく、大きな収益には結びついていませんが、今後、掲載商品を増やして、SNSでの宣伝を工夫して行えば良い結果を期待する事ができそうです。



minne



BASE

イベント参加

ナントンゴ・カフェ&マルシェは開催できませんでしたが、下記のイベントに参加しました。

月	日	イベント名	場所
7	1-11	サマーフェスタ展	越谷ギャラリーK
7	3-15	巴里祭に寄せたアート展	神楽坂セッションハウス
11	7, 8	ちば Zoo フェスタ	千葉市動物公園
11	28-12/3	ノエル展	神楽坂セッションハウス
12	19, 20	トコムロラボのちいさなクリスマスマルシェ	北海道浦幌町
3	1-10	クリエイターズマルシェ (ポップアップショップ)	渋谷スクランブルスクエア

どのイベントも開催自体が危ぶまれていた中で、直接お客様に説明できる貴重な機会となりました。

千葉市動物公園での Zoo フェスタへの出店では、ボランティアスタッフも多く参加でき、来客数も多く、10年間参加を続けた中で最高の売上となりました。

また、3月の渋谷スクランブルスクエアでのイベントは、初めての百貨店でのポップアップ出店でしたので、学ぶところが多くありました。特に、SNS をご覧になり来場された方があったことから、これまでのように対面販売の様子を見て足をとめてもらうばかりではなく、インターネット上の告知もいっそう上手に活用していくことの重要性を感じました。

生産活動

「南アフリカ伝統布シュウェシュウェ*」 x 「バーククロス**」・コラボ商品開発

以前からウガンダ伝統の素材。バーククロス** (樹皮布) とアフリカの布を使用し、バッグ、帽子、ポーチ等の作品を制作して来ましたが、新たに、南アフリカより手作り雑貨を輸入販売しているマデリーフ&カニールス (Madelief & Kaneels) とのコラボにより、南アフリカの伝統布とバーククロスを組み合わせての商品開発を開始しました。バッグ、ベレー、ポーチ、カードケース、ピアス等、カラフルなシュウェシュウェとバーククロスの天然の風合が良く似合い魅力的な試作品ができました。ピアス、カードケース等の小さな作品はマデリーフ&カニールスにより販売も開始しました。マデリーフ&カニールスの代表はナントンゴ・プロジェクトの理事でもあります。

* シュウェシュウェ (Shweshwe) = 南アフリカの伝統布。幾何学模様がベースのため大柄模様の中にもどこか和を感じさせる雰囲気があります。

マデリーフ&カニールスのサイトで詳しい情報をご覧くださいませ↓

(<http://www.madeliefandkaneels.com/shweshwe.html>)

**バーククロス (bark-cloth) = ガンダ語ではルブゴ、ウガンダのガンダ王国の伝統として伝わる樹皮をなめして布状に加工した素材。ナントンゴ・プロジェクトはルブゴという名称を使用して来ましたが、3月に NHK の「世界はほしいモノにあふれてる」にて「アフリカ最古の布バーククロス」として紹介された為、呼び方を改めました。

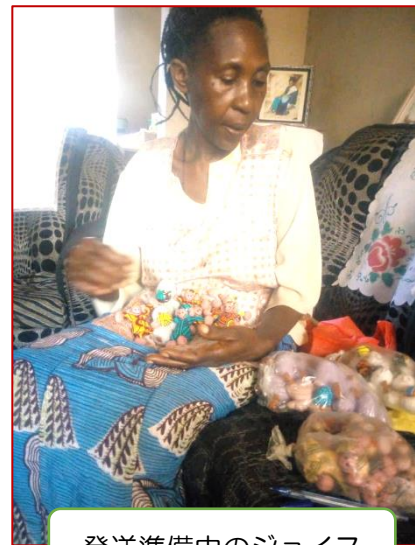


ウガンダの状況と生産

ウガンダの首都カンパラでは2020年3月後半からロックダウンが行われ、5月以降に段階的に解除されるまで、国境封鎖、外出制限や交通機関停止が行われました。ウガンダ保健省によると、新型コロナウイルス感染の状況は2021年5月13日時点で、感染件数約4万2千、死者数346名（ウガンダの人口は4千6百万人、Covid-19のテスト件数は約百万件）で、他国の感染者数と比較すると落ち着いているように思われますが、独裁政権下、医療体制が脆弱なウガンダでは、経済や人権よりも感染対策が優先され、罰則を伴う厳しい方針が取られました。今後、変異株による感染が再び拡大すれば、経済への影響が一層心配されます。

このような状況で、ウガンダでのナントゴ・プロジェクト・メンバーの様子が心配されましたが、皆さん元気で、ロックダウン中は作品作りに集中できました。ナントゴ・プロジェクト以外の経済活動としては、マスクを作って販売していたそうです。私用での車やバイクの移動が禁止されたので、作品を郵便局へ届ける事もできませんでしたが、ロックダウンが解除された5月に、チンパンジーやシュールビルのマスコットと、刺繍作品を発送して貰い、通常だと1週間で届くEMS荷物が35日かかりましたが無事に到着しました。

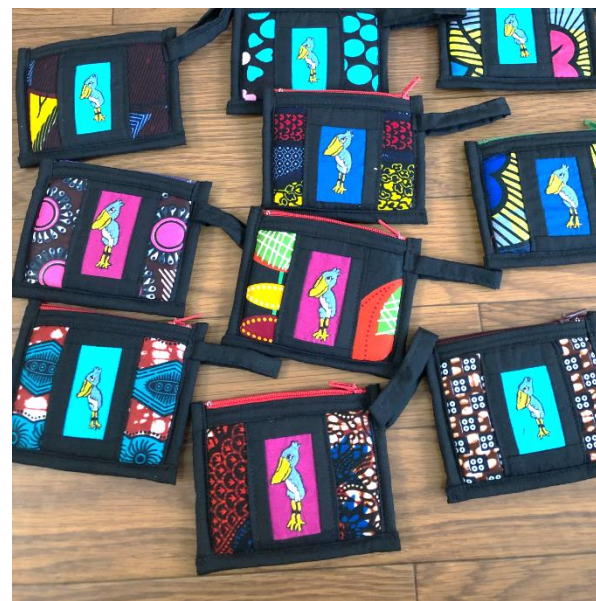
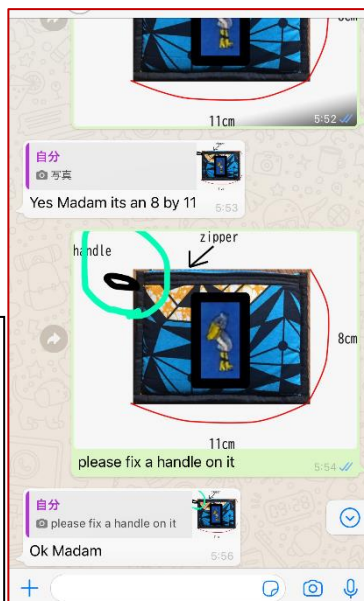
ウガンダからは、年度内に3回EMSで作品を発送して貰い、届いた作品は卸販売や、ちばZooフェスタ等のイベントで販売できました。ウガンダへは年度内に約11万円を送金しましたが、この内、約3万円がプロジェクトメンバーの女性達に制作代金として支払われました。残りは、EMS送料約2万5千円、他のウガンダ製品の購入に約5万5千円を使用しました。現地でのトレーニングを行う事ができずトレーニング参加費が支払えなかった事と、販売可能な作品を作る技術のある参加者以外には制作依頼を保留した為に、前年に比べて半分以下の支払い額になってしまいました。それでも、チンパンジーやシュールビルマスコット作者のジョイスの末娘が大学に入学し、入学金支払いにマスコット制作代金が充てられたという嬉しいニュースがありました。制作代金を支払えなかったメンバー達は、次回のトレーニングでスキルを習得する事を約束し、代表のウガンダ訪問を待っています。



発送準備中のジョイス



オリーブに依頼したマスクは、販売が難しい色で作られた為、刺繍部分を活かしてコインケースに変更して貰いました。メッセージアプリを使用しての意思疎通は難しく、時間がかかりましたが、小さなサイズの刺繍がキュートな作品が完成しました。



新規事業

UWEC—エンテベ動物園

ロックダウンにより休園したウガンダ野生動物保護センター（UWEC—エンテベ動物園）のファンドレイジングに協力して、UWECのハシビロコウ個体「スシ」をTシャツにデザイン、販売し、肖像権料を送金するという計画を実行しました。

Tシャツ販売を行うために、BASEのオンラインショップを5月に立ち上げ、6月以降は、休園明けの千葉市動物公園の協力を得る事ができ、売店での委託販売を開始しました。Tシャツ以外にも、カレンダーとトートバッグを制作し、合計115点のスグズを販売し、肖像権料と寄付金と合わせて2万円をUWECに送金しました。



UWEC（野生動物保護教育センター）のスシ

情報発信

noteでの発信




ウガンダでの出来事やウガンダ文化についてnote（情報発信のwebサービス）で記事を書き始めました。よろしければご覧ください。（<https://note.com/nantongo>）

SDGsへの取組

SDGs（エスディーゼーズ）とは2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。SDGsについての詳しい情報は国連広報センターのホームページでご覧になれます。↓

https://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

ナントongo・プロジェクトは、団体の活動が国際目標に沿っているか振り返りました。今後、他団体と協調していく際に、重要な視点と考えられるからです。その結果、主に以下3つのSDGsゴール達成に貢献する取組を行っていることを公言することといたしました。今後、情報発信の際に盛り込む事がありますので、ご承知おきください。

 <p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>作品作りに参加するウガンダの女性達を経済的に支援する事で地位向上に貢献します。</p>	 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>リサイクル材料及び、ウガンダの伝統・文化的価値のある材料を使用しています。</p>	 <p>15 陸の豊かさを守ろう</p>	<p>パーククロス産業を保護する事は、熱帯雨林の豊かな環境保護に貢献します。</p>
--	--	---	--	---	--

お願い

2021 年もナントゴ・プロジェクトをお支えください

日本でも、新型コロナウイルス感染拡大が長期間解決せず、深刻な状況に置かれた方々が多い状況で、NPO 法人としての活動を続けさせていただける事に感謝しております。今後も、安全に気を付けながら、ウガンダの生産者にも日本の方々にも喜んでいただける手づくり品を創り出し、情報発信、販売活動を続けてまいります。作品やグッズに込めた希望と、小さいながらも発生する経済の流れを止めずに回転させ続け、関係する皆様一人ひとりに笑顔をお届けできるよう願っています。皆様にも見守っていただけると幸いです。

2021 年度もサポーター会員として、ナントゴ・プロジェクトを応援していただけますようお願い申し上げます。下記、銀行口座にサポーター会費（一口 1,000 円、法人会員は一口 5,000 円）をお振込みください。恐れ入りますが、振込み手数料はご負担ください。

・ゆうちょ銀行

記号 10570 番号 54604251 トク(ト)ナントゴ プロジェクト

(銀行からお振込みの際は下記内容をご指定下さい)

店名：〇五八 (読み：ゼロハチ) 店番：058 預金種目：普通預金 口座番号：5460425

・PayPay 銀行 店番号 002 すずめ支店 預金種目：普通預金 口座番号：4604950

(↑銀行名が変更しました)



特定非営利活動法人ナントゴ・プロジェクト 理事長 宮本啓子